

公益社団法人 日本オーケストラ連盟 第 9 期
2020 年度事業計画

自：2020 年 4 月 1 日

至：2021 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本オーケストラ連盟

2020 年度事業計画

第 9 期 2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

1. 交響楽に関する調査研究及び資料、情報の収集

(1) 「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑 2020」の刊行

加盟楽団の楽員及び事務局員の構成、公演回数の詳細な内容、財務状況等、オーケストラ活動の全体像がまとめられている。研究、分析の資料であり、オーケストラ・ガイドブックとも言える。また、正会員楽団の展望について、定期演奏会を中心に専門家が分析し、客観的観点からの検証を行う。巻末に加盟楽団の自主演奏会の公演記録、来日オーケストラの公演情報等も掲載する。併せて多言語化の増量も検討、充実を図る。

(2) 各種レポートの発行

例年同様、交響楽の振興に関する事項やオーケストラ運営について調査し、また関連する資料や情報を収集しオーケストラの発展に努める。

(3) ライブラリアン会議、ステージマネジャー会議の開催

加盟オーケストラの楽譜及びステージ設営の担当者他、関連する団体にも参加を呼びかけ、専門的な調査、研究と研修を行う。このことにより、オーケストラの発展と楽壇全体の発展に寄与する。

(4) 基礎資料作成の調査・検討

- ①オーケストラ活動の重要性、必要性に理解を求める、基礎資料を作成する。このための調査・検討を行う。
- ②アマチュア・オーケストラの実態調査を実施
- ③「子供のためのオーケストラ検証」を引き続き実施、定点観測等を拡大する。

2. 交響楽振興のための公演及び講習会等の開催

(1) 「オーケストラの日 2021」の催しの実施。

オーケストラの普及、浸透を図るため 3 月 31 日を「オーケストラの日」と 2007 年に制定し、この年度は 15 回目となる。この日を中心に全国規模で、加盟オーケストラが演奏会、公開練習、バックステージ見学、楽器体験、指揮体験など多様なイベントを企画、オーケストラの存在意義を浸透させる。首都圏の会場は「東京の春音楽祭」と共催で、東京文化会館（上野公園）で実施する。

(2) 文化庁からの受託による「アジア オーケストラ ウィーク 2020」の制作。

●文化庁芸術祭主催公演の一環として開催される事業。企画競争・公募に応募中。

アジア諸国からプロのオーケストラを複数招聘し、個性豊かな演奏の競演を実現し我が国とアジア諸国における文化交流を促進する。

この年度は例年の10月開催から7月開催に変更して実施される。

日程／2020年7月1日（水）から7月7日（火）まで7日間

会場／東京オペラシティコンサートホール

(3) 令和2年度文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

「明日を担う音楽家たち」（文化庁在外研修の成果）の制作

隔年で実施している、複数の器楽楽器奏者の成果をオーケストラと共演で実施する。

日程／2020年12月7日（月）

会場／東京オペラシティコンサートホール

(4) オーケストラ連盟30周年記念事業

創立30周年を迎える本年、記念事業の概要を秋季を目途に公表し、事業は年度後半から来年度にかけて実施する。

(5) 講習会、セミナー等の開催

オーケストラを取巻く諸課題、交響楽に関して、講習会及びセミナーを開催。

オーケストラの発展に努める。

(6) インターンシップの推進

インターンシップ制度は人材育成に貢献し、プロフェッショナル・オーケストラの運営に関して理解を広めるために重要である。連盟が窓口となり、音楽大学を中心に一般の大学からも募集を受け、アートマネジメントなどを学ぶ学生がオーケストラで実地研修ができるよう加盟のオーケストラを紹介しサポートする。

(7) その他の活動

アフィニス文化財団が開催する「アフィニス夏の音楽祭」に加盟楽団が奏者、運営スタッフを派遣。音楽祭開催に協力する。

- ・2019年から開催場所が新潟県長岡市の長岡リリックホールとなった。

- ・開催期間：2020年8月16日（日）～23日（日）

3. 青少年に対する交響楽の普及

(1) 「激甚災害に指定された被災地復興支援事業」（音楽の力による心の復興事業）

2019年度に実施した「兵庫・仙台・熊本からの報告」をもとに行ったシンポジウム、「音楽の力による心の復興とその支援体制の構築」の報告書を制作、関係機関への送付

を実施する。

その他、東日本大震災の被災地の学校などに、加盟するオーケストラから楽員を派遣し、音楽による心の復興事業に引続き取組む。また、豪雨災害等予想される激甚災害に備える。

(2) 東京都が主催する「子どもたちと芸術家の出あう街」の制作に協力する。

オーケストラのみならず多様なジャンルの芸術家がワークショップやアウトリーチ活動などを通して、将来の芸術文化の担い手としての子どもたちに芸術文化を身近に体験してもらうことを目的とした事業で、この実行委員会の一員として協力する。

- ・ 2021 年 3 月 28 日（日） 東京芸術劇場
- ・ 企画・演奏：東京フィルハーモニー交響楽団

4. 交響楽に関する国際交流

(1) 2020 年 10 月に韓国光州市で実施される「オーケストラ・サミット」の準備及び開催に協力する

「アジア・太平洋地域オーケストラ連盟」の創設団体・会長団体として、韓国光州サミット 2020 開催に協力する。又、関連する欧米のオーケストラ機関とも連携を図る。

5. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 「日本オーケストラ連盟ニュース」を発行する。(7 月、11 月、3 月 計 3 回)

オーケストラに関するニュース、トピックスや各種情報などを伝えるほか加盟するオーケストラの主催公演を一覧表示、コンサートガイドの役割も果たす。単なる機関紙としてではなく調査、資料収集等で得られた知見、情報も掲載する。

(2) 「日本のオーケストラ」を作成する。

加盟団体が公益目的事業の支援依頼などの際に活用する、楽団の活動や運営の状況、公的支援の海外との比較などが一目で分かるパンフレットを作成する。

(4) 他の実演芸術団体等との連携

芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、文化芸術推進フォーラムの一員として、他の芸術団体や全国公立文化施設協会（公文協）、日本音楽芸術マネジメント学会などとも連携を図り、国の芸術文化予算の拡充等を求める。また、アマチュア・オーケストラとの連携を図り、オーケストラの一層の裾野拡大に努める。

(5) その他

実演芸術の価値と魅力をより多彩に発信されるよう、新聞、放送などをはじめとする各種マスメディアの活用に努める。

ホームページの内容を定期的に更新し、メンテナンスも併せて行い利用者の増加を目指す。

また、海外のクラシック専用サイトに、加盟オーケストラの演奏会情報を掲載する。

6. その他の事業（相互扶助等事業）

(1) 著作権代行事業

一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）との協定による、加盟オーケストラの使用する管理著作物の包括的申請と使用料の一括徴収と支払を行う。

(2) 共同広告事業

演奏会の宣伝媒体の利用形態が変わり、利用者がいない状態が続いるため、実施しない。

(3) 互助会事業

指揮者・小澤征爾氏、チェロ奏者の故ロストロポーヴィチ氏およびNHK交響楽団が無料出演したコンサートの収益金を原資に、病気や怪我で3ヶ月以上活躍できない加盟会員に所属する楽員、職員へ無利息での貸付制度による互助事業を行う。

昨年来、全楽団に配布したパンフレットにより利用者の喚起を実施。

以 上